

## BCPを策定するとどうなるの？

### ●災害に強いお店・企業になる！

- お客様や従業員の命を守るために、何をすれば良いか分かります。
- 地震の被害を小さくするために、何をすれば良いか分かります。
- 以上のように、BCPを作成すると、お店や会社が災害を乗り越えるために何をすればよいのかを、把握することができます。



### ●信頼が高まる！

- 「災害に強いお店・企業」になるだけでなく、お客様、取引先や従業員、地域住民からの信頼が高まり、企業価値が上がります。
- 特に、生活用品や食料品・医薬品などを扱うお店では、震災直後に商品の需要が高まります。すぐに営業を再開することは地域住民にとって心強いものです。震災時に地域住民へ貢献できることによって、あなたのお店への信頼が高まります。



### ●納入先からの要望に応えられる！

- 現在、大企業にBCPが浸透しつつあります。そして、部品などの調達先となっている中小企業にも、BCPを作成していることを要請する動きが出てきています。
- あなたの会社がBCPを作成することで、継続した取引につながります。

帰宅困難者対策や企業BCPの策定の推進については、岐阜県、愛知県、三重県及び名古屋市の三県一市で連携し、取り組んでおります。



発行／岐阜県、愛知県、三重県、名古屋市

岐阜県総合防災ポータル  
<http://www.pref.gifu.lg.jp/bousai/>  
防災課  
電話 058-272-1125

愛知県防災局のページ  
<http://www.pref.aichi.jp/bousai/>  
災害対策課  
電話 052-954-6192

防災みえ.jp  
<http://www.bosaimie.jp>  
災害対策課  
電話 059-224-2189

名古屋市のホームページ  
<http://www.city.nagoya.jp/>  
消防局防災部防災室  
電話 052-972-3523

## 企業の皆様へ

～東日本大震災の教訓～

首都圏では公共交通機関が麻痺したことにより、多くの帰宅困難者が発生し大混乱となりました。こうした状況は決して他人事ではありません。災害発生時にこのような大混乱を起こさないためには、企業の皆様のご協力が必要です。

## 帰宅困難者対策はなぜ必要なの？

大地震などの災害が発生すると、公共交通機関は安全確認のため運行を停止



早く帰りたいので、多くの人が一斉に帰宅行動。しかし、鉄道等の運行が再開されないと、駅には帰宅できない人がどんどん増加。



- ☆駅周辺は人や車で大混乱
- ☆携帯電話が繋がらない
- ☆タクシー乗り場も長蛇の列
- ☆階段などでは集団転倒のおそれ
- ☆歩道でも、余震による建物倒壊や看板などの落下による死傷のおそれ
- ☆帰宅を急ぐ車の渋滞が、救急車や消防車の運行の妨げに



このような大群衆の発生は、パニックを引き起こす可能性があり、二次災害の危険を増大させます。

## それではどうしたらいいの？



「むやみに移動を開始しない」ことが基本！

## 企業における対策は？

●従業員等を一斉に帰宅させることは控えましょう。

- ・翌日帰宅や一定期間の滞在
- ・公共交通機関の運行状況や被害状況等の情報収集
- ・従業員等が事業所内に安全に待機できる環境整備
  - ◎社屋の耐震化、書棚等の転倒防止、ガラスの飛散防止
  - ◎食料や飲料水の備蓄など



※企業においては、BCP（事業継続計画）を策定し、従業員等の待機及び帰宅方針を定めておきましょう。